

令和4年度

公益財団法人 高槻市都市交流協会

事業報告書及び決算書

公益財団法人 高槻市都市交流協会

報告第1号

令和4年度公益財団法人高槻市都市交流協会事業報告について

公益財団法人高槻市都市交流協会定款第8条第2項の規定により、令和4年度公益財団法人高槻市都市交流協会事業報告を、監事の意見を付けて評議員会に報告する。

令和5年6月16日

公益財団法人高槻市都市交流協会
理事長 八十 祐治

令和4年度 事業報告書

1 事業の概要

「国際社会に対応できるひとづくり」を基本理念として、「子ども体験交流プロジェクト（重点施策）」、「グローバル教室交流プロジェクト」、「協働による交流推進プロジェクト」の3つの施策方針のもと、事業を実施した。令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった事業もあったが、感染防止対策を徹底したうえで、多くの対面による事業を再開することができた。また、近年培ってきたICTに係るノウハウを活かし、引き続きオンラインによる事業を展開した。

(1) 子ども体験交流プロジェクト

① 英語体験交流の実施

＜わくわく英語DEキャンプ＞

小学生が外国人ボランティアと交流を深めるとともに、楽しく英語や異文化にふれる「わくわく英語DEキャンプ」をNPO法人ノートとの共催で実施した。

実施日 令和4年9月3日（土）

参加者 13名

外国人ボランティア 6名

② 国際理解・協力講座の開催

＜芥川小学校とトゥーンバ市グラマー校のオンライン交流事業＞

芥川小学校の6年生の児童と、トゥーンバ市グラマー校の4, 6年生の児童とのオンライン交流を実施した。

実施日 令和4年10月18日（火）、25日（火）

参加者 芥川小学校 138名

グラマー校 154名

＜関西大学中等部での異文化理解講座＞

1年生に対して異文化理解講座の実施を希望する関西大学中等部に協力し、タンザニア及びフィリピン出身の講師を紹介し、当該講師との連絡調整、講座内容の助言及び当日の講座実施時の支援を行った。

実施日 令和4年10月26日（水）

参加者 関西大学中等部 121名

<関西大学中等部とトゥーンバ市フェアホルムカレッジのオンライン交流事業>

関西大学中等部の1年生の生徒と、トゥーンバ市フェアホルムカレッジの8、9年生の生徒とのオンライン交流について、トゥーンバ市及びフェアホルムカレッジとの連絡調整及び当日の交流実施時の支援を行った。

実施日 令和4年10月27日(木)

参加者 関西大学中等部 24名

フェアホルムカレッジ 20名

<檜田小学校とトゥーンバ市クロウズネスト州立学校のオンライン交流事業>

檜田小学校の3～6年生の児童と、トゥーンバ市クロウズネスト州立学校5、6、8年生の児童・生徒とのオンライン交流を実施した。

実施日 令和4年11月2日(水)、16日(水)

参加者 檜田小学校 31名

クロウズネスト州立学校 60名

<真上小学校とトゥーンバ市ガウリー州立学校のオンライン交流事業>

真上小学校の6年生の児童と、トゥーンバ市ガウリー州立学校4～6年生の児童とのオンライン交流を実施した。

実施日 令和4年11月21日(月)

参加者 真上小学校 81名

ガウリー州立学校 70名

<郡家小学校とトゥーンバ市ハイフィールドズ州立学校のオンライン交流事業>

郡家小学校の6年生の児童と、トゥーンバ市ハイフィールドズ州立学校の6年生の児童とのオンライン交流を実施した。

第1回 実施日 令和4年11月24日(木)

参加者 郡家小学校 114名

ハイフィールドズ州立学校 99名

第2回 実施日 令和5年3月9日(木)

参加者 郡家小学校 121名

ハイフィールドズ州立学校 106名

<上牧小学校と常州市龍錦小学校のオンライン交流事業>

上牧小学校の5年生の児童と、常州市龍錦小学校の5年生の児童とのオンライン交流を実施した。

実施日 令和4年12月16日(金)

参加者 上牧小学校 38名
龍錦小学校 38名

<英語DE遊ぼう！オーストラリア編>

小学3～6年生を対象に、トゥーンバ市出身の講師が英語を用いたアクティビティを行う講座を実施し、英語及び異文化に触れる機会の提供を行った。

実施日 令和5年2月25日（土）

参加者 22名

③ 海外学生団の受け入れ

<U-12トゥーンバ市サッカー交流団の受け入れ>

U-12トゥーンバ市サッカー交流団を受け入れ、高槻市での市長表敬、高槻市サッカー連盟との連携による交流試合やホームステイ等を実施するもの

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

当初実施予定時期 令和4年9月中旬

④ 農村体験の実施

<サマーフレンドシップ2022 in 益田 親子でふれあいキャンプ>

実行委員会に参画し、野外活動プログラムを通じて益田市の自然・文化・歴史等にふれあい、市民交流を行う、市内在住の親子を対象としたキャンプ事業を実施するもの

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

当初実施予定時期 令和4年7月中旬

<若狭に泊まろう>

若狭町の農村民泊を活用し、農家での宿泊・農業体験を通じて市民交流を行う、小学生を対象とした体験事業を引率ボランティアと共に実施した。

実施日 令和5年3月18日（土）～19日（日）

参加者 15名

引率ボランティア 2名

⑤ 文化交流の実施

<高槻まつりにおける匹見中学校来訪団の受け入れ>

高槻まつりに参加する益田市匹見中学校生の「こども石見神楽団」を受け入れ、まつり会場での神楽上演とともに、まつり夜店での益田市のPR活動や特産品販売を通し交流を行うもの

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

当初実施予定日 令和4年8月6日（土）～7日（日）

⑥ 姉妹都市等交流事業への助成

青少年を姉妹都市・友好都市に派遣し、教育、文化、スポーツ等の交流を通して青少年の育成を図る団体が行う事業に対して、参加する青少年の人数に応じて、助成金を交付するもの

交付件数 0件

交付金額 0円

(2) グローバル教室交流プロジェクト

① 外国語会話教室の開催

<ていあの外国語会話教室>

市民が外国語の習得を通し外国への関心や国際理解を深め、自らの交流活動に役立ててもらふことを目的とした教室を対面及びオンライン形式で実施した。

[英会話教室]

10クラス 36回開講 受講者数 114名

実施期間 令和4年4月11日（月）～令和5年3月23日（木）

[中国語会話教室]

4クラス 36回開講 受講者数 25名

実施期間 令和4年4月14日（木）～令和5年3月16日（木）

[夏期講習（英会話）]

3クラス 1回開講 受講者数 13名

実施日 令和4年8月19日（金）、22日（月）

[オーストラリアの人と話してみよう！]

英会話教室受講者とトゥーンバ市U3A（第3世代大学）の生徒とのオンライン交流

第1回 実施日 令和4年5月18日（水）、
6月1日（水）、22日（水）

参加者 英会話教室受講者 4名

U3A 5名

第2回 実施日 令和4年10月12日(水)、26日(水)、
11月9日(水)、30日(水)
参加者 英会話教室受講者 5名
U3A 4名

[常州工学院オンライン交流]

中国語会話教室受講者と常州市の常州工学院の生徒とのオンライン交流

第1回 実施日 令和4年6月15日(水)、7月20日(水)、
8月17日(水)、9月21日(水)

参加者 中国語会話教室受講者 7名
常州工学院 18名

第2回 実施日 令和4年10月19日(水)、11月16日(水)、
12月21日(水)
令和5年1月18日(水)、2月15日(水)、
3月15日(水)

参加者 中国語会話教室受講者 6名
常州工学院 18名

[無料体験授業]

英会話 2クラス 1回開講 受講者数 15名
実施日 令和5年3月27日(月)

中国語会話 2クラス 1回開講 受講者数 7名
実施日 令和5年3月24日(金)

② 海外文化体験教室の開催

海外の文化紹介や体験講座を通じて、市民に外国語や異文化に触れる機会を提供する講座を開催した。

<映画上映会>

英語及び中国語(日本語字幕)の映画を上映し、外国語や異文化に触れる機会の提供を行った。

第1回 実施日 令和4年6月29日(水)

参加者 21名

第2回 実施日 令和5年3月17日(金)

参加者 16名

<知っチャオ！イタリア>

講師がイタリアの生活・文化、日本との比較で感じることを話す海外文化講座を実施し、異文化に触れる機会の提供を行った。

実施日 令和5年2月18日（土）

参加者 29名

<太極拳教室>

中国文化の体験講座として、太極拳教室を実施するもの

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

当初実施予定 1クラス 36回

令和4年4月～令和5年3月

③ イベント交流の実施

地域に根差した国際交流、異文化交流に関する相互理解を促進するため、在住外国人も含め、広く市民が参加できるイベントを開催、もしくは共催し、交流する場の提供を高槻市及び姉妹都市・友好都市等で行った。

<国際交流写真展>

高槻市の作家と国内外の姉妹・友好都市作家の作品を展示する写真展を高槻光影社との共催により開催した。

実施日 令和4年6月9日（木）～14日（火）

来場者 703名

<たかつきアート博覧会における作品交流>

たかつきアート博覧会の「巨大絵画アーケード展」に、トゥーンバ市及び常州市から提供された作品を出展し、作品を通じた交流を行った。

展示期間 令和4年11月1日（火）～30日（水）

<高槻市農林業祭における交流>

高槻市農林業祭に益田市及び若狭町が参加し、姉妹都市の特産品販売やPR活動を通し交流を行った。

実施日 令和4年11月13日（日）

<石見神楽オンライン上演会>

益田市の匹見神楽社中が石見神楽についての紹介や演目の上演を行うイベントを益田市と共催で実施し、現地の文化及び伝統芸能に触れる機会の提供及び交流を行った。

匹見神楽社中は益田市にて演目の上演等を行い、高槻市民はオンラインで自宅もしくは視聴会場のスクリーンで鑑賞した。また、益田市民もオンラインで益田市内の視聴会場で鑑賞した。

実施日 令和5年2月19日（日）

参加者 高槻市民 自宅 17名

視聴会場 14名

益田市民 視聴会場 7名

〈高槻まつりにおける交流〉

高槻まつりに若狭町が参加し、姉妹都市の特産品販売やPR活動を通し交流を行うもの

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

当初実施予定日 令和4年8月7日（日）

④ 日本語教室の開催

日本語習得の支援として日常生活で必要とする初歩的な日本語の会話教室を対面及びオンライン形式で実施した。

〈日本語教室〉

4クラス 36回開催 受講者 32名

実施期間 令和4年4月12日（火）～令和5年3月23日（木）

〈日本語教室交流イベント〉

日本語教室の生徒を対象に、生徒間の交流を促進し、日本の伝統的な遊びなどを通して日本の文化に触れるイベントを開催した。

実施日 令和5年1月15日（日）

参加者 12名（日本語教室の生徒の家族3名を含む。）

（3）協働による交流推進プロジェクト

① 日本語教室連絡会の開催

高槻市内の日本語教室を運営する市民団体と情報の共有及び意見交換等を適宜行った。

② 外国語・やさしい日本語による情報提供

在住外国人の生活支援として、当協会窓口において、相談受付や情報提供を随時行った。また、在住外国人に対する公的文書の翻訳支援や、市の行政窓口での通訳支援等を随時行った。

翻訳支援 8 件

通訳支援 13 件

③ 状況・ニーズ調査の実施

当協会事業への関心や興味を持っていただけるよう都市交流ニュースを年間2回発行し、公民館等の公共施設への設置や賛助会員に郵送し、ホームページによる姉妹都市・友好都市の紹介や協会事業、交流事業等の情報発信を行った。

加えて、多様化するニーズ・課題に対応するために、事業後アンケートを中心としたニーズ把握等に関する状況調査を行った。

④ ボランティアの募集・育成

ホストファミリーのボランティア登録を行った。

登録ホストファミリー 79 家庭

⑤ スーパーグローバルハイスクール運営指導委員会への参画

高槻市内のSGHネットワーク参加校の運営指導委員会に参画し、指導・助言を行うもの

※当協会の主催事業と開催日が重複したため不参加

開催日 令和5年2月18日（土）

⑥ その他

<公民館で知る市制 国際交流事業編>

当協会が実施する国際交流関連事業等を紹介する講座を南大冠公民館との共催で実施した。

実施日 令和4年11月30日（水）

参加者 20名

(4) その他

① 賛助会員の募集

協会の育成と都市間交流の推進を図るため協会賛助会員の募集を行い、賛助会員に都市交流ニュースの送付や交流事業の案内を行い、協会事業、交流事業等の情報発信を行った。

個人会員 158名（158口） 会費 1口 2,000円

団体会員 10団体（10口） 会費 1口 5,000円

法人会員 2法人（2口） 会費 1口 20,000円

② 後援名義の貸出等

民間団体等の行う国際事業や交流事業への援助として、協会後援名義の貸出や円滑な事業の推進に協力した。

後援決定件数 2件

2 理事会開催状況

| 開催日時 | 内 容 |
|------------------------|---|
| 令和4年 5月18日 (第1回) | 承認第1号 令和3年度公益財団法人高槻市都市交流協会事業報告及び決算の承認について 議案第1号 顧問の選任について 議案第2号 令和4年度第1回評議員会の招集について (全案件につき同日原案可決・承認) |
| 令和4年 6月17日 (第2回) | 議案第1号 理事長(代表理事)の選定について 議案第2号 公益財団法人高槻市都市交流協会非常勤職員就業規則の一部改正について 議案第3号 公益財団法人高槻市都市交流協会職員給与規程の一部改正について (全案件につき同日原案可決) |
| 令和4年 10月5日 (第3回) | 報告第1号 代表理事の職務執行状況の報告について (案件につき同日原案承認) |
| 令和5年 2月13日 (第4回) | 報告第1号 代表理事の職務執行状況の報告について 議案第1号 令和5年度公益財団法人高槻市都市交流協会事業計画について 議案第2号 令和5年度公益財団法人高槻市都市交流協会予算について 議案第3号 公益財団法人高槻市都市交流協会非常勤講師就業規則の制定について 議案第4号 常州市周年事業積立資産取扱規程の一部改正について 議案第5号 令和4年度第2回評議員会の招集について (全案件につき同日原案可決・承認) |

| 開催日時 | 内 容 |
|--|--|
| 令和5年 3月23日 (決議の省略 による提案) (第5回) | <p>議案第1号 役員賠償責任保険の加入について</p> <p>議案第2号 公益財団法人高槻市都市交流協会個人情報保護指針 (プライバシーポリシー)の制定について</p> <p>議案第3号 公益財団法人高槻市都市交流協会個人情報等管理規程 の制定について</p> <p>議案第4号 高槻市姉妹都市・友好都市交流事業助成金交付要綱の 再制定について</p> <p>議案第5号 公益財団法人高槻市都市交流協会非常勤講師就業規則 の一部改正について</p> <p>(全案件につき令和5年3月30日原案可決とみなされた)</p> |

3 評議員会開催状況

| 開催日時 | 内 容 |
|------------------------|--|
| 令和4年 6月8日 (第1回) | <p>報告第1号 令和3年度公益財団法人高槻市都市交流協会事業報告 について</p> <p>承認第1号 令和3年度公益財団法人高槻市都市交流協会決算の 承認について</p> <p>議案第1号 評議員の選任について</p> <p>議案第2号 理事の選任について</p> <p>(全案件につき同日原案可決・承認)</p> |
| 令和5年 2月24日 (第2回) | <p>承認第1号 令和5年度公益財団法人高槻市都市交流協会事業計画 及び予算の承認について</p> <p>(案件につき同日原案承認)</p> |

4 役員名簿 (令和5年3月31日現在)

| 役職名 | 氏名 |
|------|--------|
| 理事長 | 八十 祐治 |
| 専務理事 | 野倉 洋克 |
| 理事 | 小宮山 章二 |
| 理事 | 高須賀 嘉章 |
| 理事 | 中西 美代子 |
| 監事 | 田中 哲哉 |
| 監事 | 宮口 太 |
| 評議員 | 植木 實 |
| 評議員 | 金田 忠行 |
| 評議員 | 田中 隆夫 |
| 評議員 | 樽井 弘三 |
| 評議員 | 西田 誠 |
| 評議員 | 橋長 俊彦 |
| 評議員 | 丸山 優子 |

5 事務局職員体制 (令和5年3月31日現在)

常勤職員 2 人 (市派遣職員)

非常勤職員 2 人

承認第1号

令和4年度公益財団法人高槻市都市交流協会決算の承認について

公益財団法人高槻市都市交流協会定款第8条第2項の規定により、令和4年度公益財団法人高槻市都市交流協会決算を、監事の意見を付けて評議員会の承認に付する。

令和5年6月16日

公益財団法人高槻市都市交流協会
理事長 八十 祐治

令和4年度 決算書

貸借対照表

令和5年3月31日現在

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増減 |
|-------------------|---------------|---------------|-----------|
| I 資産の部 | | | |
| 1. 流動資産 | | | |
| 現金預金 | 6,619,564 | 5,426,733 | 1,192,831 |
| 未収金 | 0 | 0 | 0 |
| 【流動資産合計】 | 6,619,564 | 5,426,733 | 1,192,831 |
| 2. 固定資産 | | | |
| (1) 基本財産 | | | |
| 現金預金 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 投資有価証券 | 170,000,000 | 170,000,000 | 0 |
| 投資有価証券・指定 | 170,000,000 | 170,000,000 | 0 |
| 【基本財産合計】 | 200,000,000 | 200,000,000 | 0 |
| (2) 特定資産 | | | |
| トゥーンバ市周年事業積立資産 | 1,350,000 | 1,350,000 | 0 |
| 常州市周年事業積立資産 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 |
| マニラ市周年事業積立資産 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 |
| 減価償却引当資産 | 971,780 | 913,814 | 57,966 |
| 【特定資産合計】 | 4,721,780 | 4,663,814 | 57,966 |
| (3) その他固定資産 | | | |
| 什器備品 | 71,935 | 1 | 71,934 |
| 建物附属設備 | 190,667 | 212,667 | △ 22,000 |
| ソフトウェア | 0 | 0 | 0 |
| 出資金 | 2,000 | 2,000 | 0 |
| 【その他固定資産合計】 | 264,602 | 214,668 | 49,934 |
| 【固定資産合計】 | 204,986,382 | 204,878,482 | 107,900 |
| 【資産合計】 | 211,605,946 | 210,305,215 | 1,300,731 |
| II 負債の部 | | | |
| 1. 流動負債 | | | |
| 未払金 | 2,280,693 | 1,139,413 | 1,141,280 |
| 前受金 | 175,700 | 134,400 | 41,300 |
| 預り金 | 156,621 | 123,436 | 33,185 |
| 賞与引当金 | 525,501 | 442,433 | 83,068 |
| 【流動負債合計】 | 3,138,515 | 1,839,682 | 1,298,833 |
| 2. 固定負債 | | | |
| 【固定負債合計】 | 0 | 0 | 0 |
| 【負債合計】 | 3,138,515 | 1,839,682 | 1,298,833 |
| III 正味財産の部 | | | |
| 1. 指定正味財産 | | | |
| 寄附金 | 200,000,000 | 200,000,000 | 0 |
| 【指定正味財産合計】 | 200,000,000 | 200,000,000 | 0 |
| (うち基本財産への充当額) | (200,000,000) | (200,000,000) | 0 |
| (うち特定資産への充当額) | (0) | (0) | (0) |
| 2. 一般正味財産 | | | |
| (うち基本財産への充当額) | 8,467,431 | 8,465,533 | 1,898 |
| (うち特定資産への充当額) | 0 | 0 | 0 |
| (うち特定資産への充当額) | (4,721,780) | (4,663,814) | (57,966) |
| 【正味財産合計】 | 208,467,431 | 208,465,533 | 1,898 |
| 【負債・正味財産合計】 | 211,605,946 | 210,305,215 | 1,300,731 |

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|-----------------|------------|------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | |
| (1) 経常収益 | | | |
| 基本財産運用益 | 57,200 | 10,900 | 46,300 |
| 基本財産受取利息 | 57,200 | 10,900 | 46,300 |
| 特定資産運用益 | 0 | 0 | 0 |
| 特定資産受取利息 | 0 | 0 | 0 |
| 受取会費 | 406,000 | 302,000 | 104,000 |
| 賛助会員受取会費 | 406,000 | 302,000 | 104,000 |
| 事業収益 | 4,815,900 | 2,446,496 | 2,369,404 |
| 事業収益 | 4,815,900 | 2,446,496 | 2,369,404 |
| 受取補助金 | 13,777,094 | 15,070,960 | △ 1,293,866 |
| 受取地方公共団体補助金 | 13,777,094 | 15,070,960 | △ 1,293,866 |
| 雑収益 | 3,014 | 1 | 3,013 |
| 受取利息 | 0 | 1 | △ 1 |
| 受取配当金 | 14 | 0 | 14 |
| 雑収益 | 3,000 | 0 | 3,000 |
| 【経常収益計】 | 19,059,208 | 17,830,357 | 1,228,851 |
| (2) 経常費用 | | | |
| 事業費 | 15,246,608 | 14,261,186 | 985,422 |
| 役員報酬 | 4,197,272 | 4,241,508 | △ 44,236 |
| 給料手当 | 3,876,217 | 4,003,999 | △ 127,782 |
| 賞与引当金繰入額 | 433,325 | 362,717 | 70,608 |
| 臨時雇賃金 | 0 | 0 | 0 |
| 福利厚生費 | 1,433,383 | 1,418,180 | 15,203 |
| 旅費交通費 | 224,182 | 0 | 224,182 |
| 通信運搬費 | 213,404 | 326,805 | △ 113,401 |
| 減価償却費 | 46,373 | 5,866 | 40,507 |
| 消耗什器備品費 | 0 | 0 | 0 |
| 消耗品費 | 367,804 | 493,886 | △ 126,082 |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 |
| 印刷製本費 | 93,583 | 44,135 | 49,448 |
| 会議費 | 0 | 0 | 0 |
| 施設使用料 | 114,325 | 0 | 114,325 |
| 賃借料 | 0 | 0 | 0 |
| 保険料 | 6,800 | 13,290 | △ 6,490 |
| 諸謝金 | 4,178,200 | 3,298,000 | 880,200 |
| 支払助成金 | 0 | 0 | 0 |
| 委託費 | 52,800 | 52,800 | 0 |
| 雑費 | 8,940 | 0 | 8,940 |
| 管理費 | 3,810,702 | 3,595,017 | 215,685 |
| 役員報酬 | 1,955,317 | 1,753,877 | 201,440 |
| 給料手当 | 709,009 | 726,128 | △ 17,119 |
| 賞与引当金繰入額 | 92,176 | 79,716 | 12,460 |
| 福利厚生費 | 413,892 | 307,463 | 106,429 |
| 会議費 | 7,840 | 9,530 | △ 1,690 |
| 旅費交通費 | 2,170 | 960 | 1,210 |
| 通信運搬費 | 36,191 | 66,632 | △ 30,441 |
| 減価償却費 | 11,593 | 1,467 | 10,126 |
| 消耗什器備品費 | 0 | 0 | 0 |
| 消耗品費 | 44,284 | 52,025 | △ 7,741 |
| 修繕費 | 0 | 0 | 0 |
| 印刷製本費 | 60,522 | 52,052 | 8,470 |
| 賃借料 | 85,208 | 63,104 | 22,104 |
| 保険料 | 274,500 | 302,600 | △ 28,100 |
| 諸謝金 | 0 | 0 | 0 |
| 租税公課 | 200 | 0 | 200 |
| 支払負担金 | 72,000 | 69,300 | 2,700 |
| 委託費 | 13,200 | 13,200 | 0 |
| 雑費 | 32,600 | 96,963 | △ 64,363 |
| 【経常費用計】 | 19,057,310 | 17,856,203 | 1,201,107 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 1,898 | △ 25,846 | 27,744 |
| 基本財産評価損益等 | 0 | 0 | 0 |
| 特定資産評価損益等 | 0 | 0 | 0 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 【当期経常増減額】 | 1,898 | △ 25,846 | 27,744 |

| 科 目 | 当年度 | 前年度 | 増 減 |
|------------------|-------------|-------------|----------|
| 2. 経常外増減の部 | | | |
| (1) 経常外収益 | | | |
| 【経常外収益計】 | 0 | 0 | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 | 0 |
| 【経常外費用計】 | 0 | 0 | 0 |
| 【当期経常外増減額】 | 0 | 0 | 0 |
| 【当期一般正味財産増減額】 | 1,898 | △ 25,846 | 27,744 |
| 【一般正味財産期首残高】 | 8,465,533 | 8,491,379 | △ 25,846 |
| 【一般正味財産期末残高】 | 8,467,431 | 8,465,533 | 1,898 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 基本財産運用益 | 57,200 | 10,900 | 46,300 |
| 基本財産受取利息 | 57,200 | 10,900 | 46,300 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 57,200 | △ 10,900 | △ 46,300 |
| 一般正味財産への振替額・受取利息 | △ 57,200 | △ 10,900 | △ 46,300 |
| 【当期指定正味財産増減額】 | 0 | 0 | 0 |
| 【指定正味財産期首残高】 | 200,000,000 | 200,000,000 | 0 |
| 【指定正味財産期末残高】 | 200,000,000 | 200,000,000 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 208,467,431 | 208,465,533 | 1,898 |

正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合 計 |
|-----------------|------------|-----------|--------|------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | | |
| 1. 経常増減の部 | | | | |
| (1) 経常収益 | | | | |
| 基本財産運用益 | 28,600 | 28,600 | | 57,200 |
| 基本財産受取利息 | 28,600 | 28,600 | | 57,200 |
| 特定資産運用益 | 0 | 0 | | 0 |
| 特定資産受取利息 | 0 | 0 | | 0 |
| 受取会費 | 203,000 | 203,000 | | 406,000 |
| 賛助会員受取会費 | 203,000 | 203,000 | | 406,000 |
| 事業収益 | 4,815,900 | 0 | | 4,815,900 |
| 事業収益 | 4,815,900 | 0 | | 4,815,900 |
| 受取補助金 | 10,197,601 | 3,579,493 | | 13,777,094 |
| 受取地方公共団体補助金 | 10,197,601 | 3,579,493 | | 13,777,094 |
| 雑収益 | 1,507 | 1,507 | | 3,014 |
| 受取利息 | 0 | 0 | | 0 |
| 受取配当金 | 7 | 7 | | 14 |
| 雑収益 | 1,500 | 1,500 | | 3,000 |
| 【経常収益計】 | 15,246,608 | 3,812,600 | | 19,059,208 |
| (2) 経常費用 | | | | |
| 事業費 | 15,246,608 | | | 15,246,608 |
| 役員報酬 | 4,197,272 | | | 4,197,272 |
| 給料手当 | 3,876,217 | | | 3,876,217 |
| 賞与引当金繰入額 | 433,325 | | | 433,325 |
| 臨時雇賃金 | 0 | | | 0 |
| 福利厚生費 | 1,433,383 | | | 1,433,383 |
| 旅費交通費 | 224,182 | | | 224,182 |
| 通信運搬費 | 213,404 | | | 213,404 |
| 減価償却費 | 46,373 | | | 46,373 |
| 消耗什器備品費 | 0 | | | 0 |
| 消耗品費 | 367,804 | | | 367,804 |
| 修繕費 | 0 | | | 0 |
| 印刷製本費 | 93,583 | | | 93,583 |
| 会議費 | 0 | | | 0 |
| 施設使用料 | 114,325 | | | 114,325 |
| 賃借料 | 0 | | | 0 |
| 保険料 | 6,800 | | | 6,800 |
| 諸謝金 | 4,178,200 | | | 4,178,200 |
| 支払助成金 | 0 | | | 0 |
| 委託費 | 52,800 | | | 52,800 |
| 雑費 | 8,940 | | | 8,940 |
| 管理費 | | 3,810,702 | | 3,810,702 |
| 役員報酬 | | 1,955,317 | | 1,955,317 |
| 給料手当 | | 709,009 | | 709,009 |
| 賞与引当金繰入額 | | 92,176 | | 92,176 |
| 福利厚生費 | | 413,892 | | 413,892 |
| 会議費 | | 7,840 | | 7,840 |
| 旅費交通費 | | 2,170 | | 2,170 |
| 通信運搬費 | | 36,191 | | 36,191 |
| 減価償却費 | | 11,593 | | 11,593 |
| 消耗什器備品費 | | 0 | | 0 |
| 消耗品費 | | 44,284 | | 44,284 |
| 修繕費 | | 0 | | 0 |
| 印刷製本費 | | 60,522 | | 60,522 |
| 賃借料 | | 85,208 | | 85,208 |
| 保険料 | | 274,500 | | 274,500 |
| 諸謝金 | | 0 | | 0 |
| 租税公課 | | 200 | | 200 |
| 支払負担金 | | 72,000 | | 72,000 |
| 委託費 | | 13,200 | | 13,200 |
| 雑費 | | 32,600 | | 32,600 |
| 【経常費用計】 | 15,246,608 | 3,810,702 | | 19,057,310 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 0 | 1,898 | | 1,898 |
| 基本財産評価損益等 | 0 | 0 | | 0 |
| 特定資産評価損益等 | 0 | 0 | | 0 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | | 0 |
| 【当期経常増減額】 | 0 | 1,898 | | 1,898 |

| 科 目 | 公益目的事業会計 | 法人会計 | 内部取引消去 | 合 計 |
|------------------|-------------|-------------|--------|-------------|
| 2. 経常外増減の部 | | | | |
| (1) 経常外収益 | | | | |
| 【経常外収益計】 | 0 | 0 | | 0 |
| (2) 経常外費用 | | | | |
| 固定資産除却損 | 0 | 0 | | 0 |
| 【経常外費用計】 | 0 | 0 | | 0 |
| 【当期経常外増減額】 | 0 | 0 | | 0 |
| 【当期一般正味財産増減額】 | 0 | 1,898 | | 1,898 |
| 【一般正味財産期首残高】 | 5,931,502 | 2,534,031 | | 8,465,533 |
| 【一般正味財産期末残高】 | 5,931,502 | 2,535,929 | | 8,467,431 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | | |
| 基本財産運用益 | 28,600 | 28,600 | | 57,200 |
| 基本財産受取利息 | 28,600 | 28,600 | | 57,200 |
| 一般正味財産への振替額 | △ 28,600 | △ 28,600 | | △ 57,200 |
| 一般正味財産への振替額・受取利息 | △ 28,600 | △ 28,600 | | △ 57,200 |
| 【当期指定正味財産増減額】 | 0 | 0 | | 0 |
| 【指定正味財産期首残高】 | 100,000,000 | 100,000,000 | | 200,000,000 |
| 【指定正味財産期末残高】 | 100,000,000 | 100,000,000 | | 200,000,000 |
| III 正味財産期末残高 | 105,931,502 | 102,535,929 | | 208,467,431 |

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日(平成21年10月16日改正)内閣府公益認定等委員会)を採用しています。

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

1. 満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

1. 什器備品……定率法によっている。

ただし、従来、減価償却を行っていなかった固定資産については、公益法人会計基準適用初年度(平成19年度)の期首の帳簿価額を取得価額とみなし、適用初年度から実施することとしている。この減価償却を実施するに際して、適用する耐用年数は、新規に取得した場合の耐用年数から経過年数を控除した年数によっている。

また、一部、一括償却資産に該当するものは3年間の均等償却によっている。

2. 建物附属設備……定額法によっている。
3. 無形固定資産……定額法によっている。

(3) 引当金の計上基準

1. 賞与引当金……職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。(単位:円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|----------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 現金預金 | 30,000,000 | 30,055,500 | 30,055,500 | 30,000,000 |
| 投資有価証券 | 170,000,000 | 0 | 0 | 170,000,000 |
| 小 計 | 200,000,000 | 30,055,500 | 30,055,500 | 200,000,000 |
| 特定資産 | | | | |
| トゥーンバ市周年事業積立資産 | 1,350,000 | 0 | 0 | 1,350,000 |
| 常州市周年事業積立資産 | 1,200,000 | 0 | 0 | 1,200,000 |
| マニラ市周年事業積立資産 | 1,200,000 | 0 | 0 | 1,200,000 |
| 減価償却引当資産 | 913,814 | 57,966 | 0 | 971,780 |
| 小 計 | 4,663,814 | 57,966 | 0 | 4,721,780 |
| 合 計 | 204,663,814 | 30,113,466 | 30,055,500 | 204,721,780 |

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。(単位:円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財産からの充当額) | (うち一般正味財産からの充当額) | (うち負債に対する額) |
|----------------|-------------|------------------|------------------|-------------|
| 基本財産 | | | | |
| 現金預金 | 30,000,000 | (30,000,000) | - | - |
| 投資有価証券 | 170,000,000 | (170,000,000) | - | - |
| 小 計 | 200,000,000 | (200,000,000) | - | - |
| 特定資産 | | | | |
| トゥーンバ市周年事業積立資産 | 1,350,000 | - | (1,350,000) | - |
| 常州市周年事業積立資産 | 1,200,000 | - | (1,200,000) | - |
| マニラ市周年事業積立資産 | 1,200,000 | - | (1,200,000) | - |
| 減価償却引当資産 | 971,780 | - | (971,780) | - |
| 小 計 | 4,721,780 | - | (4,721,780) | - |
| 合 計 | 204,721,780 | (200,000,000) | (4,721,780) | - |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。(単位:円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|--------|-----------|---------|---------|
| 什器備品 | 195,742 | 123,807 | 71,935 |
| 建物附属設備 | 220,000 | 29,333 | 190,667 |
| ソフトウェア | 818,640 | 818,640 | 0 |
| 合 計 | 1,234,382 | 971,780 | 262,602 |

5. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

| 科 目 | 帳簿価額 | 時価 | 評価損益 |
|------------------|-------------|-------------|-----------|
| 第170回大阪府公募公債(5年) | 100,000,000 | 99,910,000 | △ 90,000 |
| 第170回大阪府公募公債(5年) | 70,000,000 | 69,944,000 | △ 56,000 |
| 合 計 | 170,000,000 | 169,854,000 | △ 146,000 |

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末 残高 | 当期 増加額 | 当期 減少額 | 当期末 残高 | 貸借対照表上 の記載区分 |
|---------|-----|-----------|------------|------------|-----------|-----------------|
| 高槻市補助金 | 高槻市 | 0 | 13,777,094 | 13,777,094 | 0 | / |
| 合 計 | | 0 | 13,777,094 | 13,777,094 | 0 | |

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

| 内 容 | 金 額 |
|-----------|--------|
| 経常収益への振替額 | |
| 受 取 利 息 | 57,200 |
| 合 計 | 57,200 |

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

| 区分 | 資産の種類 | 期首帳簿価額 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末帳簿価額 |
|------|------------------|-------------|------------|------------|-------------|
| 基本財産 | 定期預金 | 30,000,000 | 30,055,500 | 30,055,500 | 30,000,000 |
| | 高槻市農業協同組合本店 | 10,000,000 | 10,008,000 | 10,008,000 | 10,000,000 |
| | 大阪協栄信用組合新大阪支店 | 10,000,000 | 10,037,500 | 10,037,500 | 10,000,000 |
| | 近畿産業信用組合高槻支店 | 10,000,000 | 10,010,000 | 10,010,000 | 10,000,000 |
| | 普通預金 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 高槻市農業協同組合本店 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 投資有価証券 | 170,000,000 | 0 | 0 | 170,000,000 |
| | 第170回大阪府公募公債(5年) | 170,000,000 | 0 | 0 | 170,000,000 |
| | 基本財産計 | 200,000,000 | 30,055,500 | 30,055,500 | 200,000,000 |
| 特定資産 | トーンバ市周年事業積立資産※ | 1,350,000 | 0 | 0 | 1,350,000 |
| | 常州市周年事業積立資産※ | 1,200,000 | 0 | 0 | 1,200,000 |
| | マニラ市周年事業積立資産※ | 1,200,000 | 0 | 0 | 1,200,000 |
| | 減価償却引当資産 | 913,814 | 57,966 | 0 | 971,780 |
| | 特定資産計 | 4,663,814 | 57,966 | 0 | 4,721,780 |

※ トーンバ市周年事業積立資産は、令和8年度の姉妹都市提携周年事業に充当するための積立金であり、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第18条第1項に規定する特定費用準備資金とする。

※ 常州市周年事業積立資産は、令和9年度の友好都市提携周年事業に充当するための積立金であり、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第18条第1項に規定する特定費用準備資金とする。

※ マニラ市周年事業積立資産は、令和5年度の姉妹都市提携周年事業に充当するための積立金であり、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行規則第18条第1項に規定する特定費用準備資金とする。

2. 引当金の明細

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|-------|---------|---------|---------|-----|---------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 賞与引当金 | 442,433 | 525,501 | 442,433 | 0 | 525,501 |

財 産 目 録

令和5年3月31日現在

(単位：円)

| 貸借対照表科目 | | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 | |
|----------------|--------------------|-----------------------|---|--|----------------------------|
| (流動資産) | | | | | |
| | 現金 | 手元保管 | 運転資金として | 46,114 | |
| | 預金 | 普通預金 高槻市農業協同組合本店 | 運転資金として | 5,650,933 5,646,533 | |
| | | 大阪協栄信用組合新大阪支店 | 同上 | 4,400 | |
| | | 振替貯金 ゆうちょ銀行 | 運転資金として | 922,517 | |
| 流動資産合計 | | | | 6,619,564 | |
| (固定資産) | | | | | |
| 基本財産 | | | | | |
| | 預金 | 定期預金 高槻市農業協同組合本店 | 運用益を公益目的事業(50%)及び管理業務(50%)に使用している共用財産である。 | 30,000,000 10,000,000 | |
| | | 大阪協栄信用組合新大阪支店 | 同上 | 10,000,000 | |
| | | 近畿産業信用組合高槻支店 | 同上 | 10,000,000 | |
| | | 普通預金 高槻市農業協同組合本店 | 運用益を公益目的事業(50%)及び管理業務(50%)に使用している共用財産である。 | 0 0 | |
| | | 投資有価証券 | 地方債 第170回大阪府公募 公債(5年) | 運用益を公益目的事業(50%)及び管理業務(50%)に使用している共用財産である。 | 170,000,000 170,000,000 |
| 特定資産 | | | | | |
| | トウーンバ市周年事業 積立資産 | 普通預金 高槻市農業協同組合本店 | トウーンバ市姉妹都市提携周年事業のための積立資産として管理している。 | 1,350,000 | |
| | | 普通預金 高槻市農業協同組合本店 | 常州市友好都市提携周年事業のための積立資産として管理している。 | 1,200,000 | |
| | | 普通預金 高槻市農業協同組合本店 | マニラ市姉妹都市提携周年事業のための積立資産として管理している。 | 1,200,000 | |
| | | 減価償却引当資産 | 普通預金 高槻市農業協同組合本店 | 減価償却累計額見合の引当資産として管理している。 | 971,780 |
| その他固定資産 | | | | | |
| | 什器備品 | マルチプロジェクター ノートパソコン | 公益目的事業(80%)及び管理業務(20%)に使用している共用財産である。 | 71,935 | |
| | | 建物附属設備 | ひかり・LAN設備用配管 敷設工事 | 公益目的事業(80%)及び管理業務(20%)に使用している共用財産である。 | 190,667 |
| | | ソフトウェア | 会計ソフト | 公益目的事業(80%)及び管理業務(20%)に使用している共用財産である。 | 0 |
| | | 出資金 | 出資金 大阪協栄信用組合新大阪支店 近畿産業信用組合高槻支店 | 定期預金預け先の信用組合への出資金 配当金を公益目的事業(50%)及び管理業務(50%)に使用している共用財産である。 同上 | 2,000 1,000 1,000 |
| 固定資産合計 | | | | 204,986,382 | |
| 資産合計 | | | | 211,605,946 | |
| (流動負債) | | | | | |
| | 未払金 | 受取補助金・諸謝金等の未払金 | 受取補助金の清算返還並びに各種費用の未払い分である。 | 2,280,693 | |
| | 前受金 | 賛助会費及び語学教室受講料 | 公益目的事業及び管理目的の業務に使用する翌事業年度の会費及び受講料である。 | 175,700 | |
| | 預り金 | 職員 | 厚生年金保険料・健康保険料等 | 156,621 | |
| | 賞与引当金 | 職員に対するもの | 職員に対する支払に備えたもの | 525,501 | |
| 流動負債合計 | | | | 3,138,515 | |
| (固定負債) | | | | | |
| 固定負債合計 | | | | 0 | |
| 負債合計 | | | | 3,138,515 | |
| 正味財産 | | | | 208,467,431 | |

監査報告書

公益財団法人 高槻市都市交流協会
理事長 八十 祐治 様

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

令和5年5月10日

公益財団法人 高槻市都市交流協会

監事

田中 哲哉

監事

宮口 太

監事は、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書（正味財産増減計算書内訳表を含む））及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。